

株式会社 Fujitaka は
建築家の卵を応援しています!



株式会社 Fujitaka

本社：京都市下京区東塩小路町606
三旺京都駅前ビル7階
TEL：075-371-9900(大代表)
https://www.fujitaka.com
従業員数：254名(2023年4月末日時点)
創業：1917年
主な事業内容：省力化機器製造・販売・設置・修理、コインランドリー事業提案、機器販売、分煙機器販売、福祉機器、販売・メンテナンス、商業施設設計・施工、その他



JOB INFORMATION

正社員募集

「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。



2024年3月
大学卒業見込

文理不問

第2新卒以上歓迎

専門学校
卒業生歓迎

【職種】■営業職：(システム関連 事業化提案 分煙提案 店舗関連等) ■技術職：(フィールドエンジニア/ITエンジニア(いずれも文系出身者活躍中)設計 施工等) ■事務職：人事・総務・経理・会計・法務・企画・物流等の業務
【応募資格】高卒以上、普通運転免許
【給与】大卒初任給 203,000円 専門学校卒初任給 180,000円
【昇給】年1回、賞与年2回
【諸手当】通勤手当、扶養手当、住宅手当、資格手当
【勤務地】京都、大阪、東京、名古屋他
【勤務時間】9:00~18:00(実働8時間)
【休日】週休2日制(土、日、祝日、土曜日は会社カレンダーによる、年間115日、会社指定有休5日含む)
【福利厚生】借上独自寮制度、企業独自の医療費補助制度、資格取得支援制度(建築士、電気工事士等)、退職金制度
【連絡先】株式会社 Fujitaka
(人事総務課 鹿島・西野 ☎075-366-9954)
✉ saiyu@fujitaka.com



Fujitaka × 大阪工業技術専門学校

「繁盛店を創り出す」 店づくりのプロに学ぶ



「人がどんどん集まるお店とは？」を考える出張授業が大阪工業技術専門学校で開催された。講師は商業施設のデザイン・企画設計から施工、メンテナンスまで商空間をプロデュースする Fujitaka。前半は講義、後半は店舗のアイデアを考える演習と、「即戦力」を意識した課題に、学生たちは目を輝かせながらチャレンジした。

Fujitakaで 卒業生が活躍!

大阪工業技術専門学校は1895年の創立以来、「第一線の現場で活躍する技術者」を育成する学校だ。今回は建築設計科の学生18人が参加した。

Fujitakaからは取締役の菊田資士さん、店舗事業本部・店舗統括部課長の正岡力さん、店舗統括部・関西オフィス主任の高岡尚浩さん、設計部の森和深さんの4人が出席。高岡さんと森さんは同校の卒業生で、建築家の木村貞基先生が「2人ともとても熱心な学生でした」と紹介すると、クラスは一気になごやかな雰囲気になった。

出張授業は、菊田さんによる Fujitaka の紹介から始まった。「商業・公共施設の近代化」「ロボット化」「無人化」をいち早く進め、飲食店の券売機をはじめ、無人コインランドリー店舗といった繁盛店を支えるビジネスを多岐にわたって展開していることを説明。次いで正岡さんが Fujitaka

優秀賞に輝くアイデアは 「コミュニティづくり」を意識

後半の演習のお題は「無人コインランドリーに併設するならば、どんな店舗か?」。Fujitaka は現在、全国2500店舗以上のランドリー事業を手がけ、布団丸洗いなどの利便性で注目を集めている。今回は大阪府枚方市内のスーパリーの駐車場にあるランドリー店舗の実例を使って演習をした。演習では、周囲の地図や人口構成な

どの資料を配布、読み解いて客層を想像する。ターゲットは「40代の子育て主婦層」、また、よく出る案の「カフェ・クリーニング店」を除外して自由な発想で臨むことを条件とした。

その後の30分間、学生たちは真剣な表情で資料を読み込み、友人たちと考案を出し合いながら発表へ。その内容は実に多彩。子どもと一緒に過ごす時間に注目した「散髪屋」「キッズスペース」、英語やITの「学び教室」「親子フィットネス」、「動画が鑑賞できる屋内シアター」というアイデアや、母親のリラックスに注目した美容、エステ

関連や「睡眠するための空間」「ドッグサロン」「ゴルフ」「書店」「野菜直売」「食材無人販売機」など、さまざまな角度から提案がなされた。

審査発表で Fujitaka の菊田さんはこう話した。「みなさんの発想の鋭さに舌を巻きました。ランドリーとの連動性を考え、配置イメージ図まで描けている。既に実用化されている案もあり、みなさんが優秀な学生の集まりであると実感し、うれしく思います」。高岡さんも「30分でこれだけのことを提案してくれて、感動です」。Fujitaka 賞は4つ。佳作2

点が「食材の自販機」と「学べる教室」。実は既に冷食自販機設置が進んでいる店舗があり、学べる教室案も進行中。その実現性の高さが評価された。

優秀賞は「親子フィットネス」と「屋内シアター」。森さんからは「親子で集まる、シアターを一緒に見るなどコミュニティづくりまで考えた点がすばらしいと感じました」。

「繁盛店を創り出すために必要なのは、使う人の立場になり、喜びを共にできる想像力と共感力です」と菊田さん。学生たちにとって有意義な、学びの時間となった。